

国見学園コミュニティ・スクールだより

学校・家庭・地域の連携と保幼小中一貫教育

令和7年3月

(事務局：国見町教育委員会教育総務課 ☎585-2119)



第5回コミュニティ・スクール委員会が2月27日（木）に開催されました。主な内容は、本年度の国見学園アクティブプランに基づく取組の評価と来年度の国見学園アクティブプラン（学校運営の基本方針）の承認です。各学校長等から説明を受けた後、本委員会において承認されました。また、本年度最後の開催ですので、出席された委員一人ひとりから感想等をお話しいただきました。

令和6年度アクティブプランに基づく取組の評価について（一部抜粋）

【藤田保育所長より】

- ・ 簡単なルールのある遊びに興味を示し、意欲的に取り組む姿が見られるようになった。また、友達と同じ目標を持ってルールを守って遊ぶ楽しさを感じることができるようになった。

【くにみ幼稚園長より】

- ・ 自由遊びを通して、少し難しいことでもやりたいことを実現させようとする姿が見られるようになった。

【国見小学校長より】

- ・ 『人の役に立つ人間になる』ことを目的として、地域の様々な催しへの参加を呼びかけてきた。各種活動を通して、児童一人一人が自己有用感を高めることができた。

【県北中学校長より】

- ・ 文部科学省に依頼を受けて、本校で実施している「いじめ熟議」の取組を紹介し、全国の中学生と交流をしてきた。一人一人の命を大切にするために自分たちは何をすべきかをしっかりと考えていこうとする姿勢が育ってきている。

令和7年度アクティブプランについて（一部抜粋）

○ 来年度、重点的に取り組んでいきたいことについて説明があった。

【藤田保育所長より】

- ・ 柱1「自ら学ぶ力をはぐくむ」では、様々な遊びの中からボタンかけやファスナー付けなどにチャレンジさせていきたい。
- ・ 柱4「郷土愛をはぐくむ」では、保育所に隣接しているサービス利用者との交流をはじめ、地域の様々な方との交流の場を広げていきたい。

【くにみ幼稚園長より】

- ・ 柱2「豊かな心をはぐくむ」では、あいさつ運動の継続と集団生活におけるまじりの意識づけに力を入れたい。
- ・ 柱3「健康な体をはぐくむ」では、1日30分の外遊びや、基礎体力づくりを目指し、遊具を活用した遊びに積極的に取り組ませていきたい。

【国見小学校長より】

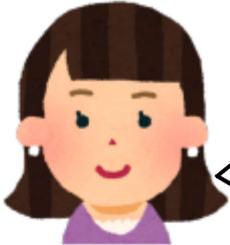
- ・ 柱1「自ら学ぶ力をはぐくむ」では、移動図書館の利用を全学年に広げ、本に親しむ機会を増やしていきたい。
- ・ 柱2「豊かな心をはぐくむ」では、感謝の気持ちを伝える「ハートフルメッセージ」の作成を新たにアクティブプランに明示した。

【県北中学校長より】

- ・ 柱1「自ら学ぶ力をはぐくむ」では、授業における教師の発問の精選によって、生徒に「見て・聞いて・繋ぐ」ための「ことばの力」を育てていきたい。
- ・ 柱2「豊かな心をはぐくむ」では、「教師の率先垂範」を追記した。教師が範を示しながら、生徒と一緒に取り組んでいきたい。

委員の方々からの感想等（一部抜粋）

子どもたちのあいさつが良くなった。国見っ子わんぱく広場での活動の最後に、スタッフに対して「ありがとうございました。」と感謝の言葉を伝えるように指導してきた。あいさつひとつにしても、大人がみんなで子どもたちに関わっていくことが大切だと思った。



CS委員会に参加させていただき、改めて町の教育機関がどのようなことをしているのか、また、地域と様々な関わりを持って子どもたちが学んでいることを知った。大人と子どもが関わりながら地域をつくっていくことが大切であるということを感じさせられた。

国見学園アクティブプランのような素晴らしい計画を立てているのは、おそらく国見町だけではないかと思う。これを実践し教育に取り組んでいただいていることは素晴らしいと思う。また、先生が範を示し子どもたちに見せることが本当の教育なのだと思う。今後も国見町の子どもたちは町の宝だという思いを持って取り組んでいただけたらと思う。



CS委員会が始まった頃も委員をしていた。その頃はそれほど事業もなかったし関わる人も多くはなく、どうしたら浸透していくのかを考えながら手探りのスタートだった。それが年を重ねることに関わる人数も事業も増え、地域の方との関わりがとて深くなってきていることを実感している。今後益々発展していくことを期待している。

今年1年間、初めて参加させていただいた。保育所と小学校に1人ずつ子どもがお世話になっている。国見学園アクティブプランにもとづく取組の成果について、わが子の姿からも感じ取ることができた。町が保育所から中学校までの一貫した取組を進めていることはとても良いことだと思った。国見っ子わんぱく広場にも参加させていただいた。毎回楽しそうにしていたので来年度も参加させたい。



農業者からの視点として、農業体験ができるというのはとても素晴らしいことだと思う。体験だけでなく、作った野菜にどのような栄養があって、身体にどのような良いことがあるのかについても調べていくと、さらに学習が深まると思った。

資料に横山貴明先生の講演会のことがあった。失敗から学ぶものはたくさんある。だから少しずつ進歩する。講演会を通して子どもたちも少し前に進めたのではないかと思う。

